

# まちかど

# ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けする「コーナー」です。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：  
 市内永田町一―100 市広報広聴課  
 電話一〇三三 内線三三三  
 締め切りは毎月十五日です。

市長への手紙から

## 中央図書館の 建てかえを

このコーナーは、「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、原田の田代 豊さんからいただいた「中央図書館の建てかえ」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります）



田代 豊さん

〈市長への手紙〉  
 市立中央図書館に毎週一度世話になり、本の貸出しを既に何年も利用させていただいている市民の一人です。

最近、館員の応接が大変によりくなり、利用する私の気分まで明るくしてくれず。

この上は、ぜひとも図書館の建てかえをお願いしたいと思っております。当市の文化施設の中で中

央図書館は暗く活気の少ない建物です。駐車場の広い、小講堂を持つ明るい図書館がほしいものです。

新図書館はコンピュータ管理として蔵書もふやし、市民の知識欲に素早く、確かにこたえていたければと思います。

また、文化行事のプレイガイド的機能も持たせ、文化の管理センターのようにしたらいかがでしょうか。

**近い将来の  
実現を目指します**

〈市長の答え〉  
 図書館職員への温かい励まし、また、中央図書館への御提言あり



△現在の中央図書館

がとうございました。

さて、中央図書館は田代さんの御指摘のとおり、施設が古い上に狭く、職員の努力だけでは十分な利用者サービスができかねる状況になってきています。

そこで、新しい時代にふさわしい新図書館を建設するよう富士市総合計画（ふじ21世紀プラン）の中に位置づけ、既に内部的な検討を始めています。

建設場所や図書館の機能・内容については、皆さんの意見を伺ってまいりたいと思います。

ソロプチミスト日本財団から「婦人向上賞」を贈られた

## まつ おか さ ぶみ 松岡砂文さん

（森島・22歳）



神様はときに、凡人には理解のできないことをなされるようです。砂文さんには脳性小児麻痺という試練を与えました。彼女の底抜けに明るい笑顔からは想像もできませんが、現在に至るまで、彼女や御両親にはいろいろな言い尽くせない苦労があったことでしょう。



ところが、「人のお世話になつていただけけれど、自分でできることは自分でしたい」という前向きな意欲と、温かい家庭や周囲の援助で障害を少しずつ克服してきました。

そして、逆に今は不思議な力を身につけています。無邪気で屈託のない笑顔から発せられるほほえみ光線は、周囲にいる者の心を温かくさせるのです。

今回の婦人向上賞は、自立を目指す婦人を援助し、表彰するもの。昼間は小規模授産所「市民ふれあいバンク」に通い、余暇にワープロや手話に励む砂文さんにぴったりの賞でした。